

塩屋・名田地区の津波避難マニュアルが完成しました！

平成29年度は塩屋・名田地区で、防災の専門家を招き4回のワークショップと津波避難訓練を実施し、津波の襲来までに住民の避難を完了させるためのマニュアルを作成しました。

小学校区単位で行っており、平成30年度は湯川・藤田地区で事業を実施します。

本マニュアルは地震・津波に対する心構えのほか、緊急避難場所や避難完了時間を自分で書き込む方式になっています。

今後の課題なども掲載していますので、マニュアルに沿った訓練の実施、課題の抽出、課題解消の検討等、地域やご家庭で見直して頂き、日ごろの備えとして是非ご活用ください。



▲塩屋地区でのワークショップの様子



【避難マニュアル】

避難路・避難場所を事前に決めておきましょう

地震発生時には、災害の脅威から身を守るために緊急避難場所へ避難しますが、その際、事前に複数の避難場所・避難路を考えておくとともに避難場所に優先順位をつけておくことが自らの命を守るために非常に重要になります。

なぜ避難路や避難場所を複数決めておくのか？

津波から避難するとなったとき、想定していた避難路や避難場所が使用できないことがあります。

例えば

- ①自分がケガをしている。
- ②避難路が障害物により通行不能になっている。
- ③想定より避難に時間をかけることができない。

といった様々な状況が想定されます。地震後の切迫した中で、自分の命を守るためにはあらゆる状況に対応できるよう、事前に準備することが重要となります。

ハザードマップや避難カードを利用しましょう

御坊市では避難路や避難場所を決める助けとなるよう、「ハザードマップ」や「避難カード」を配布しています。

地域やご家庭で避難路や避難場所を決める際にご活用ください。

